



Life & Work
わたしの
天職

全国に誇る銘酒で
地元を元気に

宮村和利さん(65) 金沢教会



〒924-0877
石川県白山市中町15番地
電話 & ファクス
076-275-0348

の「まちゼミ・学びの時間」で日本酒やワインの講師として利き酒や試飲などの講座を開き、好評を得てきた。しかしコロナ下で、店は大打撃を受ける。この十数年間、目先の利益が大きい飲食店の配達を優先し、個人宅へのご用聞きをおぎなりにしたことが、業績悪化に拍車をかけた。「商売の原点に戻り、昔ながらのご用聞きでお客さまとの関係をあらためて築いているところです。地元を元気にするために、地酒セットの企画を提案したり、ネット販売など新しいことも、どんどん挑戦しています」

日本酒の味は、米と水で決まるといわれる。となれば、ここ石川県白山市で醸される酒が旨くないはずがない。霊峰・白山を源流とする清冽な手取川水系の水。「加賀百万石」の肥沃な加賀平野で育った米。全国的な銘酒が多いのも納得だ。市内で酒販店を営み、利き酒師でもある宮村さんも、「白山の酒はコクが豊かで品格がある」と太鼓判を押す。その宮村さん、二十代で家業を継いだときは、まったくの門外漢だった。しかし数年後、酒販組合の研修で紙パック酒と銘酒の利き分けができず、愕然とする。「これではお客さまに何も勧められない！」と一念発起し、利き酒師の資格を取得。その際に蔵元の門を叩いた縁で、現在、伝統ある蔵の酒の審査役を担う。「立正佼成会金沢教会の壮年部法座で、人の気持ちに寄り添うことを教わりました。それを接客に生かすと、リピーターが増えた」と語る宮村さん。地元商店街でも、活性化運動



*立正佼成会経営者サンガネットワーク「六花の会」
<https://rikkanokai.jp/community/>
3月1日から上記HPでもこの記事がご覧いただけます。